

青 工 高 PTA だより

第 52 号



青森県立青森工業高等学校

〒039-3507 青森県青森市馬屋尻清水流204番1

TEL:017-737-3600 FAX:017-737-3601 URL:<http://www.tosei-w.asn.ed.jp/~th/>

■平成 27 年 12 月 18 日発行

■青森県立青森工業高等学校PTA広報委員会
TEL:017-737-0330

■印刷所:長尾印刷(株)

特集

君の未来へトライ!

青工は、就職、進学、両方の未来を兼ね備えたハイブリット高校です。

おめでとう!!



青森工業高校機械科卒業生
「三上正貴」さん

Contents

青工いろいろは 運動会 ねぶた祭り 青工祭り...P2~P3

【特集】君の未来へトライ!.....P4~P5

卒業生・保護者からメッセージ.....P6

PTA活動報告.....P7

第36回青森県高等学校総合文化祭結果報告...P8

【写真部】最優秀学校賞 他

平成27年度県新人戦結果報告.....P9

PTA研修旅行 赤井教頭先生より PTA副会長より...P10

就職 or 進学



青工高いろは

青空に七色輝く運動会

7/17

総合運動公園にて運動会開催。好天に恵まれ、すべての種目を行う事が出来ました。毎年恒例、ラグビー部特製メニューの「なんでも食い」に大歓声上がり、騎馬戦・綱引き・棒引きと最後まで盛り上がった一日でした。優勝は、久しぶりに電気科となりました。次の日の日焼け痕が痛々しかったですね。



い男だベエ



一歩の先に勝利がある



はねろ!



ぎったら離さない



ら、アーンして



らの使い手



ったどー!



ひっこも一緒にハネるべ



ンクしてら!?



ぐ時も手伝うよ



ックス1番!



技を伝えて23年

8/2・3・4

ねぶた部の采配こそ浅虫開湯

23年連続となる青工高担ぎねぶた、今年は奥座敷「浅虫開湯」で出陣しました。ねぶたに囃子、ねぶた部の成果が存分にみられました。ハネトの盛り上がりはやっぱり3年生が1番だと感じました。一緒に跳ねたご父兄の方々、足腰は大丈夫だったでしょうか。

4コマ
やさしくたいて

キャー



やさしく

芸に味技を磨いて 青工祭

10/30~11/1

3日間開催された青工祭は、雨が降ったり風が吹いたり寒い中でしたが、出店のいくつかで行列ができる盛況ぶりとなりました。ケンタウルスに仮装の1位は千葉大智さん、澁谷祐生さん、女装1位は美しい瞳と美脚の三上瑛司さんでした。各科の展示も趣向が凝らされていて、1時間待っても食べたい焼き芋、オリジナルな字を焼き付けるプレート等、来年も見に来たいと思える青工祭となりました。



の彼女よりめこい...♂



治郎って作れる?



よく聞いてルパン三世



ッタタラリラ~



ッツゴーtheゲート



う、お気づきだろうか



時には強く



やさしくって言ったのに...

“工の技”発見!

運動会で大活躍
蛇口付き給水樽

優しさが嬉しい♡

角度調整付の暖房吹き出し口
~青工祭~食堂にて

第36回

青森県高等学校総合文化祭結果報告

写真部

最優秀学校賞



青森工業高校

安心して下さい
通れますよ



優秀賞
「絶対とおるゾ！」
電子科2年 横内理人
(平成28年度全国高総文祭広島大会出場権獲得)

優良賞「ネバーギブアップ」電子科2年 高橋宏河
優良賞「縁日好日」 情報技術科2年 和田優佳
優良賞「北の町叙景」 電子科1年 赤平拓海

放送部

○テレビ番組部門 優秀賞 「誰よりも」(S1 蝦名瑠夏)
○ラジオ番組部門 優秀賞 「優柔不断男子の選択」(S3 最上響夏)

演劇部

優秀賞
「縁切りと達也の長い一日」

青森県高等学校ロボット競技大会

青工『INARI』チーム優勝！

工業クラブ
(ロボット)

僕たち工業クラブ『ロボット製作部門』は、青森県高等学校ロボット競技大会において、3年生チーム（成田知亮、千葉貴也、間山一輝）が優勝、2年生チーム（荒川海咲、赤坂和哉、木村有仁）が3位入賞することができました。これも日ごろから助言や励ましてくださる先生方とともに製作し切磋琢磨しあう仲間達のおかげで、ロボット製作が円滑にいき、試行錯誤を重ねられたからです。また、休日や夜遅くても迎えに来てくれたり、ご飯を作ってくれていた親に感謝しております。ありがとうございました。

電子科3年 成田知亮



平成27年度県新人戦結果

(団体ベスト8以上 個人3位以上)

ボウリング部

男子学校対抗第2位
二人チーム戦
第2位 青工B(木戸・田村)
男子個人
第3位 田村駿丞

ポクシング部

学校対抗第3位
2年生の部
フライ級 第3位 三浦一太
バンタム級第1位 工藤孔史
第3位 今 章次
ライト級 第3位 里村星耶
ウェルター級第3位 今慎太郎
1年の部
バンタム級第3位 鹿内斗希夫
女子の部
バンタム級第1位 根井星

山岳部

学校対抗 第3位

ヨット部

男子FJ級
第2位 青工A(松宮・千葉)
第3位 青工B(福沢・高木)

陸上競技部

男子走幅跳 第2位 中嶋匠

バドミントン部

男子学校対抗ベスト8
2回戦 青工3-0大湊
3回戦 青工3-1三沢
準々決勝 青工0-3東奥学園

柔道部

90kg級 第2位 高谷星摩

ラグビー部

Aフロック 第3位
1回戦 青工72-0 木造・五所農
準々決勝 青工22-0 八工大一
準決勝 青工0-77青北
代表決定戦 青工5-24八工

ラグビーワールドカップ2015
イングランド大会日本代表

本校卒業生「三上正貴」さん

プロフィール

氏名 三上正貴
年齢 27歳
身長 178cm
体重 115kg
ニックネーム まーちゃん

出身校
青森市立油川小学校
青森市立油川中学校
青森県立青森工業高等学校
東海大学
現在所属
東芝ブレイブルーパス

ポジション
プロップ(PR)
主な代表歴
U17高校日本代表
U18日本代表
U20日本代表
日本A代表
日本代表



サイン入りユニフォーム校内展示

都市環境科

URBAN ENVIRONMENT

9

青工PTA 研修旅行 岩手県くずまき町の旅



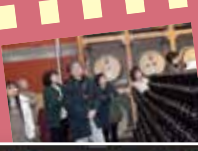
くずまき交流館

今年の研修旅行は 11 月 7 日土曜日に開催されました。3 時間弱のバスの移動で岩手県くずまき町へ。最初の目的地のくずまき高原牧場では、バター・チーズ・ティラミス作りの 3 つを体験。小腹を満たせつつ、昼食のくずまき高原牛カルビ焼肉に舌鼓を打ちました。

2 つ目の目的地はくずまきワイン工場へ製造工程の見学の他、ワインや山ぶどうジュースの試飲を楽しみました。ティスティングをしながら、好みのワインやジュースを見つけるのに帰青する時間を忘れる程でした。

10℃前後の肌寒い天候ではありましたが、雨が降る事なく、壮大な紅葉の景色を見ながらの旅行でした。

(E3 吉川)



ワイン工場

がばい(すこい)ばあちゃんの名言に学ぶ



教頭 赤井 茂樹

9 月 1 4 日に学習メディア部から「新着 EXPRESS」(生徒への図書の紹介) が配布されました。そのトップは芥川賞受賞の又吉直樹著の『火花』の紹介でした。紙面(A3)の最後に、島田洋七(漫才師:B & B) 著の『佐賀のがばいばあちゃん』がありました。この本は、十数年前に刊行され三百数十万部売れ、さらにテレビドラマ、映画化にもなりました。なぜこのタイミングでの紹介なのか、その思惑は分かりませんでしたがなぜか再読したくなりました。

物語はお父さんを早くに亡くした主人公の島田洋七が昭和 3 3 年、小 2 から中 3 までの 8 年間、生まれ故郷の広島から佐賀の祖母のところに預けられ一緒に生活することになりました。そして、究極の貧乏生活の中で数々の前向きに生きるポジティブな考え方を祖母から教わったという内容であります。川は上流から物が流れてくる「スーパーマーケット」、習い事は無理だから「走れ」(著

者は運動会で常に駆け足は 1 番となる)、茶殻は天日で干して炒めてふりかけ、歩くときは腰から磁石を引きずり鉄くずを集めるなどが有名なエピソードです。二人の貧乏でも幸せな波乱万丈の日々。笑いあり、涙ありの物語で、久々ににこやかに、明るい気分にならせてもらいました。

巻頭のプロローグの最後に「幸せは、お金が決めるものじゃない。自分自身の、心のあり方で決まるんだ」と書かれてあります。物質的に豊かになればなるほど、精神的には貧困になるように感じる現代であります。生徒たちには強靱な体力、精神力を備え、相手のことを思いやる心や優しさを常に持ち続け人生を歩めるよう、教育環境の充実を図りたいと思います。また、道德教育の大切さ、必要性が示される今、保護者と心一つに教育活動が展開できるよう、ますますのご理解とご協力をお願いいたします。

PTA 活動を振り返って

PTA 副会長 西田明美
部会長と広報委員を 3 年間努めさせていただきました。学校の為にと言いたいところですが、家では見られない学校での様子を先生に聞けたらいいなと思い、立候補しました。研修会や広報誌作りで忙しい時期もありましたが楽しく活動させていただきました。特に懇親会や打ち上げは最高に楽しいひとときでした。いろいろな人と出会い一生付き合っていける友人もでき、工業高校に入学させていただいて本当に良かったです。皆様のおかげで親子共々成長し、充実した 3 年間で過ごすことができました。有難うございました。



編集後記

7 月に 5 1 号を発行し、とても評判も良く、何となく達成感を感じ、そのせいか、5 2 号はなかなか製作意欲が出ず、子供の進路などが重なり、スタートはかなり出遅れてしまいました、いざ、製作が始まると、どんどん進み、さすがに精鋭揃いの広報委員会、びっくりぽんです。

行事担当は 1 年、表紙や他のページを 2 年、特集は 3 年と学年ごとで分担し制作しました。3 年の私たちは今号で卒業となります、広報委員会は仲も良く、土曜の午後、会議室での団らんのひと時がこれで終わりとなるのが寂しいくらいです(涙)。

毎回編集会議に参加していただいた赤屋敷 PTA 会長はじめ、発行に際し多数の方にご協力いただきました。誠にありがとうございました。(広報委員長 鹿内 朋子)

